

魚沼市産業技術支援事業補助金交付要綱

様式第1号(第7条関係)

事業計画書(新製品の開発等)

事業テーマ			
申請者		住所	〒
申請者の概要	TEL(— —) FAX(— —)		
	業種名		従業員 人
	資本金又は出資金	千円	年間売上高 千円
	主な製造品目等		創業 年 月
事業の実施地			
担当者及び 経理担当者			
他からの指導者 又は協力者			
事業の目的			
事業の内容			
(1) 研究開発による製品・サービスの対象顧客及び市場規模について			
(2) 対象顧客のニーズ等について			
(3) 事業の遂行方法について			
(4) 成果の企業化の効果、売上増加につながる実現可能性について			
(5) 収支計画(単位:千円、人)			
	前期	今期(予想)	投資3年後(見込み)
売上高			
売上原価			
人件費 ①			
減価償却費 ②			
営業利益 ③			
付加価値額 ①+②+③			
従業員数			
(内、パートタイム労働者)			
事業の日程	開始予定 年 月 日 完了予定 年 月 日		

【事業の目的】

- ・従来の製品や生産工程の技術的欠陥がどこにあるのか。
- ・新技術、生産技術の高度化、新製品開発等（以下「研究等開発」という。）又はスマートファクトリー化を図る理由は何か。
- ・従来のものと比較してどこに新規性や独自性があるのか。

【事業の内容】

（新製品の開発等）

- (1) 研究開発等による製品・サービスの対象顧客及び市場規模について
 - ・研究開発等の成果の対象となる顧客は誰か。
 - ・想定される市場規模はどの程度か。
- (2) 対象顧客のニーズ等について
 - ・研究開発等は、対象顧客によるニーズに基づくものであるか。
- (3) 事業の遂行方法について
 - ① 研究等開発スケジュール
 - ・研究等開発の段階ごとの実施スケジュールを記載。
 - ② 事業実施体制（担当組織図等）
 - ・自社のどの部署がどんな役割を担い、研究等開発を行うのかを記載。
- (4) 成果の企業化の効果、売上増加につながる実現可能性について
 - ・競合相手からどのような方法でマーケットシェアを獲得するのか、また、そのシェアを維持していくのか等の販売戦略を記載。

（スマートファクトリー化）

- (1) スマートファクトリー化を進める背景（現状と課題）について
 - ・人手不足に対するこれまでの取組とその成果を記載。
 - ・今後見込まれる人出不足の状況及び、懸念される影響を記載。
- (2) 導入する設備等について
 - ・導入にあたっての工夫、独自性（既存設備との相違点、単なる老朽設備の更新ではないことの説明等）
- (3) 事業のスケジュール
 - ・導入スケジュール、設備等の本格稼働までの実施スケジュールを記載
- (4) 事業の効果、課題解決につながる実現可能性について
 - ・設備導入後の事業展開、販売等の戦略を記載。

（新製品の開発等、スマートファクトリー化 共通）

- (5) 収支計画
 - ・売上高、売上原価、人件費、減価償却費、営業利益、付加価値額のほか、従業員数について、補助事業を行う前の直近の事業年度、今期及び投資3年度の見込みを記載。